編集後記

●特集１では「学級に影響力をもつ子」に手を焼く状態になったときに、そして、そうならないためにどうするかを考えています。執筆者の「担任として恐ろしく感じることがあります」「学級の子どもたち全体に対する私たち教師自身の影響力が脅かされる感覚になる」「そのような子への指導がうまくいかず、学級全体が荒れてしまうことも」などの言葉に、その影響力がマイナスに働いたときの恐さを感じました。
●自分の子どもが「今日は学校に行きたくない」と言いだし、休んだことがあります。高校に入学してしばらく経ったころのことです。『月刊学校教育相談』の編集をしながら、たくさんの記事を読んでいましたので、「新しい環境の中、少し疲れてエネルギー量が下がっている感じだな」と判断し、無理強いはしませんでした。結局、３日間休んで登校し出しました。特集２を読みながら、その３日間、非常に不安だったことを思い出しました。（こ）

次号のお知らせ

特集１　怒っている子は、困っている子
困っているときに「困っている」と言えず、怒ってしまう子がいます。本人は困っていることを自覚していないこともあるようです。発達障害が関係していることも。事例を通して考えます。

特集２　受験のプレッシャーが かかりすぎた子へのかかわり
子どもたちにとって、受験は大イベントです。受験は子どもたちに成長をもたらす要素がありますが、プレッシャーがかかりすぎると弊害も顕著になります。かかわりのポイントを整理して紹介します。

月刊学校教育相談

2022年　令和４年　**10月号**

定価 820円（本体 745円）
2022年10月１日発行

●発行所
ほんの森出版株式会社
〒145-0062
東京都大田区北千束3-16-11
電話　03-5754-3346
FAX　03-5918-8146
URL　https://www.honnomori.co.jp

●編集企画　学校教育相談研究所
●発行人　小林敏史
●印刷所　研友社印刷㈱

ほんの森掲示板

・新刊３冊を紹介します。まず、大好評だった連載が書籍としてまとまりました。**『百舌の巣 発達障害と感覚過敏が満載な僕の頭の中―知ること・気づくこと・考えること』**（矢野一心／著、2200円）と**『教師だから知っておきたいＬＧＢＴ入門―すべての子どもたちの味方になるために』**（遠藤まめた／著、2200円）です。
・そしてもう１冊は、不登校の子どもたちの思いや保護者のホンネ、それに対するカウンセラーの解説がぎゅっと詰まった**『大丈夫！ 不登校。―70人の先輩たちからのエール』**（荒井裕司／編著、1980円）です。本誌のあちこちに広告が入っています。ぜひ探してみてください。

本誌の 2022 年４月号からの１年間の誌代は 12,340 円（税込　増刊号２冊を含みます）。振替口座 00140-4-768848
雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。
本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は１冊につき送料100円（３冊以上送料サービス）でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

文書ファイル配布 ☆詳しくは奥付を！ ページ下にこのマークが入っている資料のファイル（ワード・パワポ・PDFなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版　検索